



**国鉄労働組合 北陸地方本部**  
 (NTT)076-231-1506 (FAX)076-231-1114 (JR)065-2393  
 (Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp  
 発行人 藤野 能章  
 編集人 山田 輝男

### 3. 10西日本総行動

## 各支部地域や西日本本社・貨物関西支社前行動開催

若手社員の離職が増えている  
**会社に不満がいっぱい!**

3月10日、2022春闘勝利に向けた西日本本社・貨物関西支社前行動が開催されました。コロナ禍の影響により、参加者が絞られての開催となりましたが、各地方をはじめ200名近くの組合員が結集しました。北陸地方本部の委員長でもある西日本本部藤野副委員長の司会で、短時間で活気に溢れた集会となりました。

主催者を代表して西日本本部植田委員長は、ロシアのウクライナへの侵略戦争に強く抗議する。また基準昇給・ベア・年間臨給に対して、コロナ感染が拡大している中でも、安全・安定輸送に奮闘している社員に対して利益剰余金等を活用するなど労働者に還元すべきである。また会社単独でのローカル線の廃止には断固反対するとあいさつしました。



北陸地方本部内の福井・石川・富山・糸魚川の各地域においても最大限の動員を呼びかけ、駅前宣伝行動や地域ビラ配布・集会等が取り組まれました。宣伝行動のビラは、各地域で2800枚が撒かれました。

JR西日本本社・JR貨物で交渉続く

3月9日西日本本社では5回目、貨物会社では3回目の、賃金ほか労働条件改善に向けた交渉が行われました。西日本会社の5回目では契約社員・シニア社員の待遇改善が中心に交渉がされました。



(組)会社の経営は、会社発足以来の危惧と長期債務が1兆7400億円に膨れ上がっていると云うが、厳しい時だからこそ応える事で、今後も頑張ろうという気持ちが出てくる。5回の交渉においても基準昇給・ベア・年間臨給について一切明らかにしてこない。会社の姿勢はいかがなものか。3月17日には有額回答を出すように。

(会)会社を取り巻く経営環境については議論させて頂いたと思う。先ずは雇用を守るといことが最優先である。慎重に検討していく。

貨物においても「ベアを実施する判断に至っていない」と、3回目の交渉で会社が考え方を明らかにしました。(組)利益剰余金の積み増しは、「会社の発展」と「社員の生活」とはアンバランスで、社員にも投資すべきである。(会)内部留保の主張は理解するが、決算は厳しい事が想定され、会社の都合だけ言えば、ベア実施は難しい。

